

事務事業名		大船渡魚市場運営委員会運営事業				☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興				事業期間		予算科目				
	施策名	19 地域活力を担う水産業の振興						会計	款	項	目	事業
	基本事業名	05 水産物の流通加工体制の強化				☐ 単年度のみ		12	01	01	01	02
所属	根拠法令	大船渡市魚市場条例・大船渡市魚市場運営委員会規則				☒ 単年度繰返 (開始 昭和39 年度～)						
	部課名	農林水産部 水産課				☐ 期間限定複数年度						
	課長名	鈴木 満広				【計画期間】						
	係名	漁政係				年度 ～ 年度						
	担当者	浅田 治樹				※全体計画欄の総投入量を記入						
		電話	27-3111									
		内線	373									
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)												
大船渡市魚市場条例に基づき、魚市場の公正、円滑な維持、管理運営を図るため、市長の諮問機関として大船渡市魚市場運営委員会を設置している。 委員は、水産関係者、知識経験者から18名を市長が委嘱している。委員の任期は2年である。 委員会は市長の諮問に応じ、魚市場の公正、円滑な維持、管理運営を図るための事項を審議答申することが所掌事項であるが、諮問案件は長期間ないため、ここ数年は主に新魚市場の整備に関する意見交換を行っている。 事業費は、委員の報酬と費用弁償として支出される。												
全体計画(※期間限定複数年度のみ)												
総投入量 (千円)	事業費 内訳	国庫支出金										
		都道府県支出金										
		地方債										
		その他										
		一般財源										
		事業費計(A)	0									
		人件費										
正規職員従事人数												
延べ業務時間												
人件費計(B)	0											
トータルコスト(A)+(B)		0										

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)
前年度実績(前年度に行った主な活動)		名称 単位
・新委員18名の任命・委嘱状交付。 ・開催 2回(9月2日、3月23日) (内容の検討、資料作成、委員への開催通知、委員会当日対応ほか)		ア 運営委員会の開催回数 回
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ 市からの諮問件数 件
・委員会の開催(内容の検討、資料作成、委員への開催通知、委員会当日対応ほか) 開催1回予定		ウ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)
・大船渡市魚市場運営委員会		名称 単位
		カ 運営委員会の委員数 人
		キ
		ク
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)
・大船渡市魚市場が適正に運営されるように、市からの諮問事項に対して答申してもらう。 ・大船渡市魚市場が適正に運営されるように、有益な意見を提言してもらう。		名称 単位
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		サ 市からの諮問に対する答申件数 件
・大船渡市魚市場が適正に運営される。		シ 運営に対する意見、提言件数 件
		ス

(2) 総事業費・指標等の推移									
			年度 単位	23年度（実績）	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（実績）	27年度（実績）	28年度（目標）
投入量	事業費 財源内訳	国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円						
		地方債	千 円						
		その他	千 円	0	69	50	0	199	100
		一般財源	千 円						
		事業費計（A）	千 円	0	69	50	0	199	100
	人件費	正規職員従事人数	人	1	2	2	2	4	2
		延べ業務時間	時 間	5	40	40	40	60	40
		人件費計（B）	千 円	20	160	160	160	240	160
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	20	229	210	160	439	260
⑤活動指標		ア	回	0	1	1	0	2	1
		イ	件	0	0	0	0	0	1
		ウ							
⑥対象指標		カ	人	20	17	17	17	18	18
		キ							
		ク							
⑦成果指標		サ	件	0	0	0	0	0	1
		シ	件	0	0	0	0	2	1
		ス							

事務事業ID	0581	事務事業名	大船渡魚市場運営委員会運営事業
--------	------	-------	-----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
昭和39年に公設市場として大船渡市魚市場を開設したことによる。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
魚市場運営委員会の運営自体に大きな変化はないが、平成26年3月に新魚市場本体が、平成28年1月に南側岸壁上屋が完成したことから、市民の意見を反映し、より適正に魚市場が運営されるよう議論を深めていく必要がある。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
特にない。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	大船渡市魚市場は公設市場であり、適正な運営が求められる。本委員会では魚市場の運営に係る議論を行うことにより、魚市場の適正な運営が図られる。	
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	大船渡市魚市場は公設市場であり、また、大船渡市魚市場条例に基づく委員会であるため。	
有効性 評価	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	魚市場を適正に維持運営していくための委員会であり、意図の限定・拡充の余地はない。対象自体は委員会そのもので見直し余地はない。	
	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	「市からの諮問に対する答申件数」は、市長が諮問する案件が長期間ないため、ゼロが続いている。「運営に対する意見、提言件数」については、新魚市場整備に関する意見交換を中心に行っている。新魚市場の維持管理手法等についてより多くの意見をいただくことで成果向上が見込まれる。	
効率性 評価	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	公設市場としての公正な運営、維持管理等の確保のため必要不可欠な委員会であり、事業を廃止した場合、魚市場の運営等に市民の意見が反映されにくい状況となる恐れがある。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	市条例に基づく委員会である。	
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	事業費は、委員の報酬と費用弁償であり、これ以上の削減の余地はない。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	委員会運営に関する事務量はそれほど多くなく、現行でも最低限の事務量である。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	財源は水揚量に応じて納入される魚市場使用料であり、適正な受益者負担がなされている。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)	(2) 全体総括(振り返り、反省点)													
<table><tr><td>① 目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>② 有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③ 効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>④ 公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr></table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	H27年度は、魚市場の共用施設建設、南側岸壁上屋建設、水産物流通情報管理高度化事業の完成があったため、市からの進捗状況説明の場として年に2回開催した。 しかしながら、会議の内容としては諮問事項があまりなくて、魚市場整備に関する意見交換が中心となっている。	
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり												
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり												
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり												
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり												
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(4) 改革・改善による期待成果													
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☒ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) 条例に基づいて設置されている委員会であり、適正に運営されている。 今後も市民の意見を反映し、適正な魚市場の運営を図るために定期的に開催していきたい。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)			
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持										
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)														
<table><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td>●</td><td></td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>		成果	向上				維持	●		×	低下		×	×
成果	向上													
	維持		●		×									
	低下		×	×										
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等														
特になし														

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	(職 名) ※原則として施策の主管課長 水産課	(氏 名) 鈴木 満広
-------	----------------------------	----------------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

- ①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)
- ☐ 記述不足でわかりにくい
☐ 一部記述不足のところがある
☒ 記述は十分なされている
- ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)
- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
☐ 一部に客観性を欠いたところがある
☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由												
<table><tr><td>① 目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>② 有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③ 効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>④ 公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr></table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	魚市場の公正、円滑な維持、管理運営を図るための事業である。 新魚市場の完成に伴い、衛生管理を中心とした魚市場運営のあり方、さらには活性化施設の効果的な運用などについて、広く意見を聴く場として、定期的に開催していく必要がある。
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり											
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり											
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり											
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり											

(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(5) 改革・改善による期待成果													
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☒ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) 現状どおり継続して事業を実施し、より多くの意見を聞き、魚市場の適正な運営に反映させたい。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)			
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持										
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)														
<table><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td>●</td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td>○</td><td></td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>		成果	向上		●		維持	○		×	低下		×	×
成果	向上			●										
	維持		○		×									
	低下		×	×										

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項